



市保連 だより

2023
(8月)

[第527号]

令和5年8月1日発行
一般社団法人熊本市保育園連盟

発行責任者 上野 誠之

調査広報委員会

委員長 今村 弘之
委員 宇治 正信 緒方 隼人
沖田 照生 角田 信也
豊田 亮

〒860-0004 熊本市中央区新町 2-4-27
熊本市健康センター新町分室 2 階
TEL(096)322-0096

「こんにちは！保育士会です」 保育士会会長 鬼木紀代美



新型コロナウイルス感染症と正しく向き合いながら、これまで保育を続けてきた皆さん、本当にありがとうございました。なかまの皆様に感謝と労いの言葉を送りたいと思います。

「私たち、がんばった！頑張り続けてる！すごい！」保育士会では、現場に直結する学びや、先生方がワクワクし、やりがいを感じることを

大切にしたいと考えています。

今年度は『こどもまんなか社会』～保育…守るべきものは？～のテーマのもと、活動を始めました。こども家庭庁ができて、こども基本法ができました。すべての子どもが幸せになるために、私たち保育者は何を求められているのか、まずは、日々保育をする中で私たちの安心につながることから、学んでいきましょう。最も大切にすべき「子どもの命を守ること」「その子らしさを大切にすること」をとらえ直すことで、「子どもにとって適切な保育とはなんであるか」自分に繰り返し問いながら保育ができるのではと考えています。

コロナが5類になったことで、これまで以上に保護者と園が協力し合うことで子どもたちの命を守る、そのためにはコミュニケーションの取り方や情報共有の方法、職員間の同僚性等を考え、今の状況に合ったものに変えていかなければなりません。

子育ても親子の関係性もコロナの前と後では変わったと現場では感じています。研修で学んだことを、臨機応変に生かしていきましょう。

ブロック保育士会でも多職種がいる園だからこそ必要な学び、実技、少人数でのグループワークなどにも取り組みます。不適切保育や保育事故の報道に心が痛みますが、私たちを見つめている子どもたちの目、私たちを必要としている子どもたちの手、何よりも社会から期待されているのは私たち保育者の活躍です。子どもが真ん中になるためには、保育者が子どもの声を聞くこと、寄り添うことが大切です。現場の私たちが、「どんとこい！」その役を担っていきましょう。そのためには、研修で知識を得るだけでなく、行事でも顔を合わせ、たくさんの元気と笑顔に触れ、先生方がエネルギーチャージをすることも大切です。そんな場所が保育士会！です。

今回、連盟ホームページに「保育士会だより」も掲載していただけることになりました。会員の皆さんの役に立つよう研修でいただいた豆知識など、いち早くお届けしたいと思っています。ご活用ください。



体験から出逢うもの のぞみ保育園



のぞみ保育園は、「様々な体験の機会をつくりだす」保育に努めています。この3年間は、コロナ禍の中で様々な制約を余儀なくされましたが、本年度からは子どもたちの活動を積極的に展開しようと考えています。

「体育教室」は、子どものエネルギーが最大限に発揮される行事として定着しています。外部講師を迎え、3歳児(月3回)、4歳児(月4回)、5歳児(月4回)を対象に、個別の能力に応じた指導をいただいています。

また、「どろんこ遊び」は、天候を選んだうえで、園庭において泥と水まみれになりながら遊びます。子どもたちに特に好評となっている行事です。



さらに、「野菜づくり体験」や「田植え体験」は、自然とふれあい、実りにつながる取り組みとして大事な行事として定着しています。

わたしたちの園では、子どもたちの自主性と可能性を高めることができるよう、職員間のコミュニケーションを深めながら、年間の「体験行事」を企画し、実施しています。



楽しいバイキング給食 熊本藤富保育園



当園では、子どもの元気の源は食事からと考えて、季節の食材、地産地消を心がけ、保育園で調理したバランスの良い食事を温かい状態で食べられるようにしています。様々な食品を少しずつでも食べられる様、調理の工夫やメニューの品数を増やしており、毎日約8品のメニューをバイキング形式で提供しています。自分でご飯やおかずをよそうことで、自分の食べることのできる量を把握し、また、苦手な食材でも自分で量を決めて少しでも口に運べるようになってきています。初めはご飯をよそ



うのもなかなかうまくいかない子どもたちですが、年齢が上がるにつれ、自分の食べる量と食べたいものをしっかりと把握してきれいにお皿に盛り付けが出来るようになってきます。職員もそれぞれの食べる量や苦手なもの、アレルギーなどをしっかりと把握し、適切に食事がとれるように補助を行っています。今後も「楽しい給食」を続けていけるよう取り組んで行きたいと思います。

楽しい食育活動 中緑保育園



私たちの保育園では食育活動として、野菜やお米を苗から育てそれを調理して食べたり、パン焼きなどたくさんのクッキングを行ってきました。

特にコロナ禍の期間はどのような食育活動ができるだろうかと給食室と相談し、夏祭りごっこで蓋つきのカップにおかずを入れて販売するお店屋さんごっこを行いました。数種類のおかずをそれ

ぞれ小さなカップに入れ、たくさんのメニューの中から好きなものを選び食べる事、また一つの量が少なめなこともあり、おかわりをして空のカップをたくさん積み上げ食べる子など、大盛況でした。

その他にも、パン、育てたお米や魚を炭で焼き、オール電化の時代「火」



というものに無縁な子どもたちも多い中、火を使う経験を通し食への意識を高められるような取り組みも行っています。

今年度はどのような食育活動ができるか、子どもたちと話し合いを重ねながらみんなでワクワクしているところです。



園庭遊びについての取り組み 幼保連携型認定こども園 五丁こども園



汗ばむ日差しの中でも、子どもたちは目を輝かせながら虫探しに夢中になっています。当園では、遊びの環境も年齢に応じてステップアップできればと考え、第1園庭と第2園庭とで環境構成の目的を分けています。

園舎に併設している第1園庭は、乳児から年長児まで全ての園児が遊ぶことを前程に、砂場遊びで使うバケツやスコップ等を多めに準備したり、子どもたちに大人気の「虫探し」ができるゾーンを作ったりしています。



また、園舎から道一本挟んで向かい側にある第2園庭は、3歳以上児がよりアクティブに遊べるようある程度高さのある遊具の設置やサッカーができる環境を構成しています。

「遊びは学び」様々な力を子どもたち自ら身に付けてほしいと願うばかりです。

[全私保連推奨] 各種団体保険制度



有限会社ゼンポ



公益社団法人
全国私立保育連盟



東京海上日動

ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間（中途加入可能）

「園賠償責任保険（新型コロナウイルス等対応費用補償特約付帯）」
「園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険）」など、保育施設における最大リスクを補償する1番の主力保険制度です。

やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間（中途加入可能）

Web
加入
可能

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

Web
加入
可能

「園内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一の場合の育児費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

しょうがくせいのほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

Web
加入
可能

24時間のおケガ等からお守りにすることに加え、自転車条例で義務化されている個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

取扱
代理店

有限会社ゼンポ

TEL : 03-3865-3881
FAX : 03-3865-2806



引受
保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

担当課支社：公務二部 文教公務室 TEL : 03-3515-4134

このチラシは、このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険（レピュテーション費用特約条項付 費用・利益保険）・雇用関連賠償責任保険の概要・団体総合生活保険（傷害保険）の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。

連絡先



公益社団法人全国私立保育連盟指定／東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL 03-3865-3881
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10全国保育会館4階

子どもの育ちが見えれば、明日の保育がもっと豊かに！

全国私立保育連盟推奨（総代理店）

導入費用
無料

きっずノート

「きっずノート」は、文字だけでは伝えきれない園での豊かな活動、子どもたちが自ら学び・育つ姿を「見える化」するアプリです。

保育者の
業務
省力化

子どもの
学び・育ちの
見える化

緊急時の
連絡手段

正式利用お申込みの全施設

最大 9 ヲ月

利用料無料！

契約更新後も料金そのまま！

年間一括利用料6万円

利用しやすい価格になりました！

ひと月あたり 5,000 円（税別）

※ただし、事業者利用規約の定めにより、将来において利用料金に変更になる可能性がございます。

詳しくはお問い合わせください。

<担当者:菅沼、佐藤>